AGENDA

淡路夢舞台国際会議場ニューズレター

2008
春　号
VOL.32
平成20年4月発行
兵庫県立淡路夢舞台国際会議場
兵庫県淡路市夢舞台1番地
電話(0799)74-1020
FAX(0799)74-1021
http://www.yumebutai.org

春の海
終日のたり
のたりかな
蕪村

花の島は春爛漫

明石海峡大橋開通
10周年を迎え
一層華やぐ淡路島

淡路夢舞台
春の花で彩られ
多彩な会議・
イベントが華ざかり

神戸淡路鳴門自動車道
全通10周年

写真上：海峡のいかなご漁（淡路市）
写真下：養殖海苔の筏（淡路市）
写真提供：島内在住S.T.様

2008年4月～9月開催予定の会議一覧

会　議　名	主なお問い合わせ先
4月	
神戸淡路鳴門自動車道全通10周年記念フォーラム	兵庫県県土整備部土木局道路計画課
Focus on Microscopy 2008	大阪大学大学院工学研究科応用物理学専攻
5月	
7th International Symposium Friction Stir Welding	TWI Ltd.
3rd International Conference on Diamond for Modern Light Sources	財団法人高輝度光科学研究センター
2nd International Symposium on the Manipulation of Advanced Smart Materials	大阪産業大学産業研究所
第1回日・豪・中 健康科学技術フォーラム	神戸大学大学院工学研究科
6月	
戦略的創造研究推進事業「革新的次世代デバイスを目指す材料とプロセス」領域会議	独立行政法人科学技術振興機構
UNWTOアジア太平洋地域委員会	UNWTO / APTEC
特定領域研究「生体超分子の構造形成と機能制御の原子機構」第4回ワークショップ	兵庫県立大学大学院生命理学研究科
第4回平成医療福祉グループ学術大会	NPO法人平成医療福祉研究会
「生態系ダイナミズムに着目した物質探索法」とりまとめシンポジウム	名古屋大学大学院理学研究科物質理学
第10回固定チームナーシング近畿地方会	固定チームナーシング近畿地方会
7月	
Workshop on Uncertain Dynamical Systems 2008	Workshop on Uncertain Dynamical Systems 2008実行委員会
第4回CKP研究会	サイバー関西プロジェクト
兵庫県西部医師会連合会臨時委員会	社団法人淡路市医師会
Bacterial Adherence & Biofilm 第22回学術大会	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部口腔微生物学分野
Second JCA-AACR Special Joint Conference	東京医科歯科大学難治疾患研究所分子遺伝分野
第5回TOSS伴一孝ドリーム講座in淡路	TOSS淡路キツツキ
8月	
第9回アジア太平洋フォーラム・淡路会議	財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構
情報知能研究会（仮称）	神戸大学大学院工学研究科情報知能工学科
'08酒井式レベルアップ講座in淡路	TOSS淡路キツツキ
グローバルCOEサマーキャンプ2008	奈良先端科学技術大学院大学
9月	
山田コンファレンス	大阪大学大学院理学研究科
US-Japan AIDS Panel	日米エイズ部会実行委員会
特定領域研究「感染現象のマトリックス」総括班会議	特定領域研究班
第8回あわじしま感染症・免疫フォーラム	東京大学医科学研究所
特定領域研究「感染現象のマトリックス」班会議	特定領域研究班
The 9th Annual Symposium Japanese Society for the Advancement of Women's Imaging	9th JSAWI事務局
第8回子宮筋腫塞栓療法研究会	杏林大学医学部放射線医学教室
2nd International SOX Meeting	大阪大学大学院生命機能研究科
国連大学グローバルセミナー第14回神戸・淡路セッション	財団法人神戸国際協力交流センター
International Conference on Machine Automation (ICMA2008)	神戸大学大学院工学研究科
特定領域「膜輸送複合体」班会議	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

※上記は都合によりキャンセル・変更される場合があります。

開催に寄せて

Bacterial Adherence & Biofilm 第22回学術集会

4-5 Jul. 2008

Bacterial Adherence & Biofilmは微生物付着およびバイオフィルムに関する研究者の集う場として1987年に設立されました（当初の名称はBacterial Adherence研究会）。第22回を数えます今回は美しい海と咲き誇る花に囲まれた淡路夢舞台国際会議場で開催することになりました。病原微生物による感染の第一歩は宿主であるヒトへの付着であり、この重要なステップの研究は感染症予防、あるいはその治療に欠かすことはできません。また、微生物が宿主組織の表面に強固に付着し、細胞外にマトリックスを作った状態であるバイオフィルムは多くの感染症の難治化の原因になっています。この2つのテーマに的を絞り、医学、歯学、薬学、獣医学、農学など様々な分野の研究者が集い、2日間にわたり研究発表、討論そして情報交換を行う予定にしています。また、2つのシンポジウムはいずれもこれまでの成果を踏まえた上での感染症予防をトピックスとしての開催を準備しています。素晴らしい自然の中でリラックスしながらの集いは、必ずや実り多きものであり「人類への脅威である感染症」の予防・治療法確立という目標への一歩となることと確信しています。

徳島大学大学院
ヘルスバイオ
サイエンス研究部
口腔微生物学分野
教授
三宅洋一郎

第2回JCA-AACR合同カンファレンス －乳がん研究の最前線－ 2nd JCA-AACR Special Joint Conference －The Latest Advances in Breast Cancer Research

14-16 Jul. 2008

2008年7月14日(月)～16日(水)に、第2回日本癌学会（Japanese Cancer Association; JCA）－アメリカ癌学会（American Association for Cancer Research; AACR）合同カンファレンス－乳がん研究の最前線（組織委員会：東京医科歯科大学教授・三木義男、大阪大学教授・野口眞三郎、名古屋大学教授・浜島信之）を開催いたします。この会議は日本癌学会のグローバル化を目指した取り組みの一つとして、昨年、第1回が名古屋で肺がんをテーマに開催されました。今年は乳がんをテーマとして取り上げ、瀬戸内の自然に恵まれた淡路夢舞台国際会議場に、内外の基礎研究者、臨床研究者、分子疫学研究者が一堂に会し、学術発表、十分な討論を通した情報交換の場にしたいと考えています。AACR側から約10人、JCA側から約20名のトップレベルの講演者を招き、また、国内外（特にアジア）の新進気鋭の次世代を担う研究者から投稿されたポスター発表を予定しています。本会議の中で、乳がん発生の基礎的研究がさらに深く展開され、その情報が臨床研究と融合して新しい診断・治療法の開発に発展していく大きな契機になることを期待しています。

東京医科歯科大学
教授
三木義男

開催を終えて

第2回国際ワークショップ「物質機能の科学的解明とナノ工学の創出」 2nd International Workshop on "Materials Science and Nano-Engineering"

1-5 Dec. 2007

2007年12月1日（土）～12月5日（水）に、大阪大学21世紀COE「物質機能の科学的解明とナノ工学の創出」研究拠点が主催する第2回国際シンポジウムを開催しました。外国人参加者（15ヶ国）28名を含め127名の参加者を得て盛況のうちに無事終了することができました。会議の前半では主として「強相関電子系分野」を後半では主として「ナノ工学分野」に関する議論を行いました。42件の口頭講演は各テーマについて世界最先端の研究者が最新の研究成果を発表する機会となり参加者から高い評価をいただけたと考えています。この21世紀COEは大学院博士後期課程大学院生をはじめとする若手研究者の人材育成を目的としたプログラムですので、若手研究者を対象としたポスターセッション（75件）にも充分時間をとりました。淡路夢舞台は会議を行うためのインフラが充実しており、ゆったりした気分の中でワークショップを行うことができて、会議の内容とともに参加者の評判は大変よいものでした。米国でのワークショップに参加するので今回はグループの若手の研究者を推薦して来たフランスの私の友人も（その若手研究者から会議の様子を聞き）淡路の会議に参加すればよかった、次回は是非自分が出席したいとのメッセージを寄せてきたのがこれを雄弁に物語っています。

組織委員長（21世紀COE拠点リーダー）
大阪大学大学院
基礎工学研究科
教授
三宅和正

第三回「配位空間の化学」国際会議 Third International Symposium on Chemistry of Coordination Space －ISCCS 2007－

9-12 Dec. 2007

Third International Symposium on Chemistry of Coordination Spaceは文科省科研費特定領域研究「配位空間の化学－分子凝縮、ストレス、変換場の創成－」の第三回国際シンポジウムとして2007年12月9日（日）から12日（水）にかけて淡路夢舞台国際会議場メインホールで行われました。参加者は220名を超え、アメリカ合衆国、フランス、ドイツ、イタリア、イギリス、カナダ、ニュージーランド、中華人民共和国、台湾、インド、日本の計11カ国からの参加がありました。配位空間の化学に関する最近の進歩、金属錯体の機能について関連分野で活躍している世界の指導的研究者達と情報交換、研究交流を行うことが出来ました。大変活発な討論が出来、今後のこの分野の将来の発展について非常に有意義な方向性が示されたと確信しております。会期中はいたるところで国内外の研究者間で活発な議論や交流が行われました。また同時に行われたポスター発表は129件にものぼり、若手研究者の意欲を刺激し、その熱気はポスターセッション終了後にも引続きました。本領域の締めくくりとして、盛大なシンポジウム開催の為、ご尽力くださった会議場、ホテルのご担当者の方々には実行委員一同、感謝申し上げます。

京都大学物質-細胞
統合システム拠点
副拠点長
大学院工学研究科
教授
北川　進

2007年12月～2008年3月に開催された会議

花文化創造フォーラム in 淡路夢舞台（12月）

11th Sanken, 6th Nanotechnology Center and 1st MSTEC International Symposium（2月）

神戸大学現代GP：PEP2研修（2月）

2007～2008年度国際ロータリー第2680地区淡路グループインターシティー・ミーティング（2月）

あわじ歴史浪漫・風景街道フォーラム（3月）

2002FIFAワールドカップ™ イングランドチーム来場記念展示コーナーができました

2002年のW杯で、淡路島がイングランドチームのキャンプ地であり、淡路夢舞台国際会議場が同チームのメディアセンターとして、ウェスティンホテル淡路が宿泊施設として利用されたことを皆様ご存知でしょうか。このほど、イングランドチーム滞在中の写真や選手らのサイン入りユニフォーム等の展示コーナーを、国際会議場1階ロビーと喫煙室内に設けました。会議の合間にお立ち寄り下さい。

ケータリング弁当に4つの新メニュー登場!

淡路夢舞台国際会議場でご利用いただける松葉寿司のケータリング弁当に新メニューができました。「古代米弁当」、「彩り弁当」、「巻き寿司弁当」、「中華弁当」の4種類で、バラエティーに富んだ内容となっています。値段は、いずれも紙パックのお茶が付いて1,050円とお手頃です。ぜひご利用下さい。

1,050円のケータリング弁当

【古代米弁当】NEW

淡路で栽培された、赤米・黒米二種類の古代米を混ぜて炊いたごはん、淡路産鹿肉の白葱巻き揚げ、蛸酢、玉葱スライスなど淡路島特産の食材が盛り込まれています。

【彩り弁当】NEW

ごはんの一枠に、蒸し穴子のちらし寿司が入り、彩りが鮮やかなお弁当です。

【巻き寿司弁当】NEW

巻きの他に穴子の箱寿司も入り、特製のお寿司が美味しいお弁当です。

★古代米について★
古代米とは稲の原種である野生稲の特徴を受け継いでいるお米。現代の白米と比べて、たんぱく質、ビタミン、鉄、カルシウム、マグネシウムなどミネラルが豊富に含まれ、滋養強壮、肝機能向上、造血作用、抗酸化作用など、多くの効用があるとされています。

【中華弁当】NEW

ごはんもおかずもボリューム満点のお弁当です。

【たこ飯弁当】

名物の新鮮なたことお米を一緒に炊き込んだたこ飯は、たこの色と旨味がごはんににじみ出た味わい深い郷土料理。淡路ならではのお弁当です。

淡路島の春の味覚　桜鯛

淡路島の春の味覚は何と言っても「桜鯛」です。サクラダイとは、春に産卵を目前に控えた真鯛の呼び名で、ちょうど桜の花が満開に咲き誇る頃、体を美しい桜色に染めるようになることからこのように呼ばれています。明石海峡と鳴門海峡の激流にもまれ、冬の冷たい海を越えてきた淡路近海でとれるこの時期の真鯛は、身が引き締まり、産卵に備え体の中に栄養をたっぷりため込んでいるため、一年中で最も美味しいとされています。一方、産卵を終えた夏の鯛は「麦藁鯛」と呼ばれ、味がやや落ちるとして敬遠されます。しかし、すぐにまた脂がのって美味しくなるところはまさに「魚の王様」といったところです。

真鯛は、たんぱく質が多い割に脂肪が少なく低カロリー。たんぱく質の必須アミノ酸のバランスがたいへん良い魚です。たんぱく質、ビタミンB1、B2、ナイアシン、カリウム、タウリンなどの栄養素が含まれ、動脈硬化、高血圧、ストレス、皮膚疾患などの症状に効果があると言われています。

活け造りで味わうのはもちろんのことですが、淡路島では陶器鍋に那智黒石を敷き詰め、鯛をエビやサザエと一緒に蒸し焼きにする「宝楽焼」が郷土料理として有名です。蒸し焼きにするため旨みが凝縮され、口の中でほぐれる身の柔らかい口当たりは絶品です。

宝楽焼

最も美味しい鯛の旬、桜鯛。春だけの味わいをここ淡路島でお楽しみ下さい。

周辺施設のイベント情報

淡路花祭2008春

3|20(木・祝)▶5|11(日)

淡路島国営明石海峡公園

チューリップ アイランドパーティー 2008
～4/20(日)

関西最大級292品種、
約60万球の根根大花壇!

淡路夢舞台

●淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」
フランスフラワーショー
～マリー・アントワネットの庭～
【次回予告】夏のラン展
～白いランの花に包まれたホワイトガーデン～
2008/5/17(土)～7/13(日)

●プロムナードガーデン
春浪漫 プロムナード ～5月中旬
春らしさをイメージしたロマンチックな空間

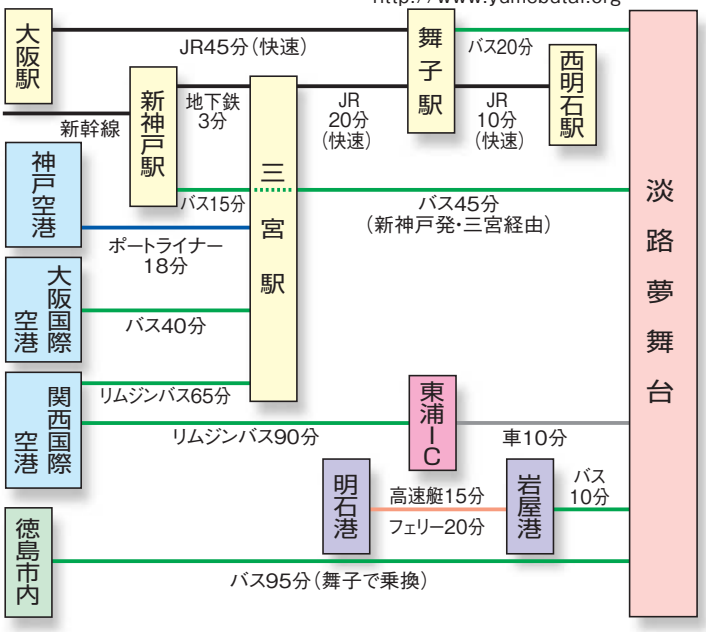
●百段苑
～輝きの庭～ ～5月上旬
淡路島の春の海をイメージした花壇

淡路花祭の会場など北淡路の観光スポットをお得に巡る
花バス運行 1日乗車券で乗り降り自由!
3/29(土)▶5/6(火・祝)
お問い合せは TEL.0799-62-5222 **1,000円**(税込)

交通アクセス

公共交通機関

▶ 運賃、時刻表等、詳細はHPをご覧ください。
http://www.yumebutai.org



あとがき 明石海峡大橋が完成し、神戸淡路鳴門自動車道が全通して10周年を迎えました。この島で生まれ育った私にとって、明石、神戸まで船で行き来していた頃が懐かしく思い出され、感慨深いものがあります。世界一長い吊り橋である明石海峡大橋の開通は、神話の時代から続く淡路島の長い歴史の中でも、後世に残る大きな出来事であったと思います。時代は変わっても、今も昔も四季を通じて花と緑が薫る自然豊かな島であることに変わりありません。春を迎え、そしてこれから夏に向かって一層色鮮やかになっていく淡路島で、皆様のお越しをお待ちしております。(爲後)

淡路夢舞台国際会議場のスタッフ紹介

会議誘致担当課長補佐
岡本 圭右

皆様、お世話になっております。会議誘致担当の岡本と申します。

前々号より始まった当館のスタッフ紹介の3番手として登場させて頂きます。個人のPRという事で、僭越ながら個人的な趣味について書かせて頂きます。多趣味(映画観賞、洋楽鑑賞、アメリカのプロスポーツ観戦等)なのですが、その中でも現在特に打ち込んでいる「マラソン」について書かせて頂きます。

私がランニングを始めたきっかけは、30歳を数年過ぎた2001年頃、運動不足解消が主な理由で、しばらくは健康の維持程度にちょこっとジョギングを続ける程度でした。最初は5km、30分程度で息が上がり、膝が痛くなるという有様でしたが、続けているうちに「自分で誇れる何かを成し遂げたい」という気持ちが芽生え、漠然と「いつかフルマラソンを完走しよう!」と思うようになりました。

途中、挫折等ありましたが、2004年3月に初フルに挑戦。3時間34分台で無事完走出来ましたが、完走を確信した38km地点では、感動で涙が溢れてきたのを思い出します。(我ながら言うのも気恥ずかしいですが…)

完走した事で変な自信が付き、次は「もっと速く走りたい」と思い始め、市民ランナーの夢でもある「サブスリー」(フルマラソンを3時間以内で完走する事)を目標としました。サブスリーはフル完走者の中でも3～4%程度しかいないと言われています。このレベルになると単なるジョギングだけでは達成が困難で、走行距離を増やしたり、心肺系を鍛えるスピード練習をしたりといったアスリート系の要素も求められます。初完走翌年に初サブスリーも達成し、順調にタイムを短縮していきました。

更に高じて、今度は「2時間40分切りたい!」と思うようになりました。何故「2時間40分」かと言うと、それを上回らないと参加資格をもらえない国際大会があるからです。(現在は緩和されて2時間50分になりましたが…)ここまで来ると求められるのは完璧にアスリートクラスのレベルで、生半可な練習では達成困難となります。しかし人生、思いどおりにはいかないもので、2005年11月に2時間47分台を出してから、記録が伸び悩み、追い打ちをかけるように、持病でもある気管支喘息が悪化し、悶々とした日が続きました。

治療で喘息を予防し、練習内容も量・質ともに上げて、2007～2008年のシーズンは、多少大げさではありますが、「マラソン人生をかける!」の意気込みで臨みました。その甲斐あってか、2007年11月の大会で2時間46分台と2年ぶりに自己ベストを更新し、更に12月の大会で45分台、そして2008年2月の大会では41分台を出す事が出来、念願の2時間30分台の大台もようやく見えてきた感じです。

マラソンのどこが好きかというと、目標に向かって邁進し、その目標を達成した時の充実感と、自分の限界との戦い、ごまかしの効かない真剣勝負が出来る点です。個人的にはまもなく「不惑」を迎えますが、老け込む事なくこれからも目標に向かって頑張っていく所存です。

追伸:前号で年内に4時間以内でのフルマラソン完走を宣言した弊社の前田が、3月のフル初レースで見事に3時間20分台で完走しました。